



ほほえみだより



令和4年 9月号

今年は雨が多い夏になりましたね。9月に入り、朝晩と少しずつ涼しくなり、だんだんと秋が近づいてきましたね。気温差で、体調を崩さないよう、衣類などで調整できるようにしましょう。新型コロナウイルスの感染者が県内・市内で増加しています。まだまだ不安な日々が続きますが、マスク着用・消毒等を引き続き行っていきましょう。ご家庭での検温も引き続き、ご協力よろしくお願ひいたします。

作品作り



紙皿とクレヨンを使用し、花火の作品作りを行いました。夜空に打ち上げられた花火、カラフルで、とてもきれいですね。



ひまわりの作品作りをしました。夏らしい背景に色を付けて、折り紙で作成したひまわりを貼りました。可愛らしい作品ができましたね。

【お知らせ】※ご家族様が新型コロナに感染または濃厚接触者になった場合は必ずご連絡を※

新型コロナウイルスの新たな変異株が出現し、感染者が高止まりしています。利用者様のほかに、同居や行き来のあるご家族様に感染が疑われる症状がある場合や、抗原検査かPCR検査を受けられた場合は、必ず事業所にお知らせいただきますようお願いいたします。

今後も引き続き、感染症対策を徹底して行っていきますので、皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

～9月の予定～

★誕生日会



男性・・・2名 女性・・・1名

お誕生日おめでとうございます。

お誕生日に近いご利用日に皆さんで

お祝いさせていただきます。

おやつにケーキとささやかなプレゼント

を用意しております。

★敬老会

敬老の日の前後に職員から、ささやかなプレゼントをお渡しさせていただきます。



昨年度の敬老会の様子

★理学療法士からのお知らせ★



理学療法士の谷下です。今月より、本格的に個別機能訓練が始まります。理学療法士による身体状況の評価と個別性の高い運動メニューの作成・実施が可能です。それにより身体機能、日常生活動作の維持が図れます。また身体のこと以外でも住宅環境などの困りごとがあればご相談ください。リハビリを希望される方は、ケアマネジャー又は、デイサービスまでご連絡をお願いします。



◆ 栄養まめちしき ～同じ食べ物でも名前がちがう！？編～ ◇

・その1 季節で名前がちがう？おはぎとぼたもち



日本には、3月は春分・9月は秋分の日の前後三日間、計七日を「お彼岸」と呼び、春の彼岸には「ぼたもち」を、秋には「おはぎ」をお供える風習があります。実はこの二つの餅菓子はもともと同一食べ物でした。作り方も全く同じ、うるち米と餅米を混ぜて炊き、軽くつぶしたものを丸め、小豆やきな粉などをまぶしたものです。

春は牡丹の花の咲く季節だから「牡丹餅」から、「ぼた餅」。秋は萩の花の季節で「萩の餅」から、「おはぎ」という呼び方が広まったといわれています。

・その2 地域によって名前がちがう？今川焼



小麦粉・卵・砂糖で作った生地を円形の型で焼き、その中に小豆の餡などを入れて焼き上げたお菓子である今川焼。最初に販売したお店が、東京都にある今川と呼ばれた土地（当時）にあったことから、そう呼ばれるようになったともいわれています。

地方によっては、景気が良い呼び名だ！と広まった「大判焼」や、焼き方の特徴から「回転焼」とも呼ばれています。その他にもさまざまな呼び方があり、「御座候」と呼ぶ地域もあるようです。

社会福祉法人山県市社会福祉協議会

山県市社協デイサービスセンターほほえみ

〒501-2321 山県市谷合 1349 番地 1

TEL (0581)56-0056

FAX 56-0057

